

地 域	浪江町	なみえ創成中学校	2 年生 7 名
日にち	2024 年 5 月 28 日 (火)	時 間	13:20~14:10
事 業	哲学対話		

■内容

哲学対話実践授業

【目的】

子どもたちが「予測困難な社会」を生きていくために必要とされる思考力や判断力、表現力等の育成に向けて、哲学対話の中で「正解のない問い」に真剣に向き合って考えたり、「対話」することで考えを深めたりする活動で、哲学対話の手法を各教科の授業に取り入れる研究を進め、効果的な活用方法等について探究する。

【詳細】

今回の研究主題は、自ら問い、学び、創造する生徒を育成するためには、どのように授業改善すればよいか(生徒の主体性を引き出す活動の工夫を通して)とし、よりよい社会を目指して～理想的な社会(地域)とは、どのようなものか、各生徒に意見を出してもらった。

- ・ 平等な関係を築くにはどうすればよいか、又それを持続させるにはどうしたらよいか
- ・ どうしたら理不尽な差別がなくなるか
- ・ 人と人が争わない社会はどうすれば作れるか、もし可能ならどうすればよいか
- ・ 平等な関係が築けたらリーダーは必要ないのではないか

等の意見が出され、その後、人と人が争わない社会の理想とはどんな社会か？について議論していった。

研究主題のねらいである「生徒の主体性を引き出す活動」について、話し合いの中で道徳的価値に迫るところまで追求しましたが、最後のまとめまでたどり着けませんでした。しかしながら、全員が、活発な意見を述べ、相手の話を聞く姿勢が身についており、継続的に哲学対話を実施している成果が現れていると感じました。

■ 写真

